

婦人部 西から東から

磐田民商

マイナンバー学習会を開催

昨年11月に婦人部マイナンバー学習会を開催しました。県婦協作成のパワーポイントをを使って、制度の概要と制度に反対しナンバー収集や記載をしないで、最低限準備しておく必要がある「物理的・技術的安全措置について」などを学びました。

一通りの学習を終えると参加者は「外国の情報漏えいのことを学び、個人番号カードをつくるのは危険だと思った」「従業員がいると大変な作業に加え責任も伴う。従業員のナンバーも預からないようにしたい」などの感想が出されました。

渡辺尚美会長は「部会で学習会開催を決め、お知らせを出して学習会までの期間が短かったが、集まった人数が多いので、ナンバー制度への関心は高く、実際はみんな困っていたのだと思う。私たちがやらなければいけないことも理解できたので学習会を開催して良かった」と語っています。

清水民商

県婦協総会決議を学習

12月8日婦人部役員会を開き、集まった7人で県婦協第11回総会(12/6)の決議を学習しました。7人が交代で読み合わせた後の意見交換では、「内容は難しいことが多かったけれど、文章が読みやすく分かりやすかった」「自分たちがやらなければなら

ないことがよく分かった」などの感想が出されました。

また総会で新設された「婦人部学習交流活動助成金」についても話題になり、

「助成金制度ができていろいろな取り組みに挑戦できて良いね」「来年の婦人科検診はどうしようか」など活発な意見が出されました。

静岡民商

マイナンバー学習会

11月18日、婦人部マイナンバー学習会を開催し15人の参加がありました。映像を中心に「マイナンバーとは何か」からはじめ、今後、業者としてどう対応していけばよいのかを話し合いました。

参加者から「個人番号カードを作らなくてはいけなのか」と質問が出されましたが、「強制ではないし、使う場所もないので持たなくても良いのではないか」との意見も出され、みんな納得していました。従業員がいる参加者からは「年末調整など、会社としてどのように対応したらいいのか」などの不安や質問もたくさん出され、復習を兼ねながら「聞く義務には罰則規定があるが、提示義務には罰則規定がない」ことなどを踏まえ、従業員への



周知や学習を行ったり、従業員とのやり取りを記録しておくことが必要だと確認しました。学習会の終わりには「民商としてマイナンバーの延期と廃止を求める署名を呼びかけていこう」と参加者の中から声が上がりました。

島田民商

こんにやく作りと忘年会

12月27日、恒例のこんにやく作りを9人の参加で行いました。いつもは先生になってくれる部員におんぶに抱っこでやっていたのですが、今回は「1人1キログラムを部自分でやってみよう」ということになり、みんな慣れないながらも必死でつくりました。

こんにやく芋を茹でてミキサーにかけて、熱いうちに混ぜて石灰を入れ固める作業です。熱くて熱くてみんなヒューヒュー言っていました。何とか作り終え、その後は天ぷら、牡蠣フライ、みそ汁、炊き込みご飯で忘年会を行いました。

ちなみにみそ汁の具は、ブロッコリーの茎、キャベツの茎、大根の皮というとてもエコなみそ汁でした。

清水民商

みかんのアレンジメント

12月26日、初めて「お正月用みかんのアレンジメント作り」を行い



ました。「まずはどんなものか様子を見よう」ということで、募集はせず役員の7人でやってみました。とても可愛いお正月飾りが出来上がる。「楽しかった。今度はみんなに呼びかけてやろう」と話し合いました。

浜松民商

婦人部第39回総会を開催

1月17日、浜松民商婦人部第39回総会を開催し50名が参加しました。総会では業者婦人の情勢、小集会の開催、業者婦人決起集会に向けての署名・拡大の取り組みや、県婦協の業者婦人商工交流会など1年の活動のまとめを杉本部長はじめ各支部の代表から報告しました。56条署名は駅南支部、南支部が目標達成し、拡大では西支部、南支部の奮闘により県婦協総会では3月末現勢突破で表彰を受けた報告もしました。



総会方針の最後では、婦人部活動の原点である小集会を全支部で行えていることは、全国的にもまれであり、継続できているのは役員さんたちの努力と情熱の賜物であることを竹下事務局長から報告しました。杉本正枝部長は「みなさんの一人

ひとりの力が必要です。またこれからの1年をみんなで力を合わせ、業者婦人の運動を頑張りましょう」と、閉会挨拶に立った井口睦子副部長は「春の運動で仲間を増やし、今年の参議院選挙に向けみんなで今の悪政を語り合い広げて、私たちが安心して商売し暮らしていける世の中にしていきましょう」と呼びかけました。また、記念行事はフルートとキーボードの素敵な演奏に酔いしれ、楽しいひと時を過ごしました。

小笠掛川民商

わいわい寄せ植え鉢づくり

(2/1付商工新聞より) 12月に「寄せ植え鉢づくり会」を開き10人が参加しました。「フラワーストップ珠樹」を営む部員の杉山文子さんを先生に、みんなでわいわいとシクラメンなど数種類の花を鉢に植え込みました。色とりどりの寄せ植えが出来上がり、オンラインワンの作品にみんなご満悦。お互いの作品を評価し合いながら楽しいひと時を過ごしました。



婦人部の活動の様子を生き生きとした写真と共に県婦協に送ってください

